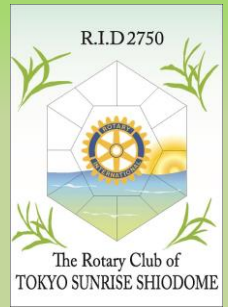


# ◆ WEEKLY REPORT ◆



R.I.会長 イアン・ライスリー

## R.I.D.2750 Chiyoda & Pacific Basin Group The Rotary Club of TOKYO SUNRISE SHIODOME



2017-18年度 会長 山本教夫  
クラブテーマ「ロータリーの楽しさを見つけよう」

No.129 2. Nov. 2017 発行

### 第125回 例会

【日時】2017年10月26日(木) 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテル ザ 汐留  
【例会出席】会員数 15名 名誉会員2名 【出席者】9名 ビジター 1名 ゲスト 0名  
【出席率】46.7% 【修正出席率】66.7%  
【ニコニコBOX】¥ 3,000— ≪今年度累計≫ ¥ 149,930—

#### ≪プログラム≫

◇ 開会点鐘

◇ 斉唱：「奉仕の理想」

◇ 会長挨拶

先週はクラブ創立記念の親睦旅行でした。3年が過ぎこれから4年目に入ります。全員も、これからどんどん若い方に入会して頂いて、どんどん盛り上げていきたいと思っております。よろしくお願い致します。

◇ 幹事報告

ロータリアン1人1本植樹のお願いが来ておりまして、来週の理事会で詳細を決めたいと思っております。

◇ 出席報告

◇ ニコニコボックス発表(敬称略)

山本教夫：生憎のお天気でしたが、親睦旅行お疲れ様でした。廣濱様、本日はようこそお越しいただきました。楽しんでいかれてください。

湯川愛里：街には金木犀の香りが漂い、良い季節となりました。来週は親睦旅行ですが、天気は下り坂との予報で気がかりです。なんとか盛り上げるよう頑張ります！

山本直道：先週の懇親旅行、高級ウィスキーだったお陰で、悪酔いしませんでした。

◇ パナー交換

司 会：工藤至善会員

山本教夫会長

江畑要ソングリーダー

山本教夫会長

山本教夫会長

工藤至善会員

湯川愛里会員



◆ 会長：山本教夫 ◆ 幹事：立堀佳男 ◆ 副会長：愛知とし子【発行責任者】山本教夫

【創立】2014年10月15日 【例会日】毎週木曜日 12:30~13:30 【例会場】ロイヤルパークホテルザ汐留  
〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-18-3 (南エルーデ内) / TEL:03-6380-5798 / FAX:03-6273-1196

【URL】<http://suns-rc.org/> 【E-mail】[office@suns-rc.org](mailto:office@suns-rc.org)

◇ ゲスト・ピッチャーご紹介

廣濱誠一様(豊橋ゴールデンRC)：私は不動産の仕事に携わってるため、全国を飛び回っておりまして、今東京のロータリークラブを全てメーキャップで回ろうという目標を立てております。先日の目黒でのメーキャップで梅澤さんにお会いして本日はこちらにお邪魔致しました。こちらは国際奉仕に力を入れていらっしゃるとの事でしたので、是非こちらも今後御協力させて頂ければと思っています。どうぞ今後とも、よろしくお願い致します。

◇ 卓話 『人材育成の問題点から考えた意識改革プログラムの展開』

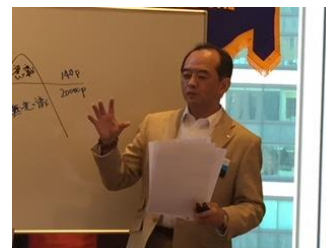
私の仕事は認知科学という視点から脳と心の行動をお伝えして、人それぞれの目的達成のお手伝いをしています。認知科学とは、心理学が文系の分野であるのに対し、人の心についてもっと科学的に扱いたい、と考えた人達が始めた学問です。科学とあるように条件を揃えれば再現するというのが特徴です。意識と無意識は、よく氷山に例えられます。目に見える認識できるものを意識、見えない認識できない領域を無意識と表現され、いずれも無意識の方が大きい存在だと認識されています。

認知科学では情報処理能力という物差しで無意識は意識の百数十倍の能力があるという測定結果が出ています。

無意識というのは無策だとその強力な力で意識の邪魔をしようとしてしまう傾向があります。ですが、必ずしも邪魔ばかりするわけではありません。人なら誰しも持っている同じ構造の脳と心の仕組みを知ることで、無意識を味方につけることができれば、意志の力を百数十倍にも引き上げられるという事をお伝えしています。

私のセミナーでは、日々の業務に直結するような直接的なことを教えていません。これから展開していく法人向けプログラムも、まず無意識を味方に付ける方法を知ってから行動して頂きたいと伝える予定です。個人においても、無意識を味方につけるためには、魅力的と思える目標を作ることが大事な要素の一つと伝えています。法人やチームも同じで、トップが魅力的な目標を提示できることが重要です。会社の目標が自分にとって素晴らしいと思えなければ、無意識が邪魔をします。自分と会社の目標が同じ方を向いていれば、研修にも足を向けたくなるはずなのです。他の特徴として、脳は大きな変化を嫌がるという傾向もあります。内容は良くても、短時間で強い変化を強いられると、無意識は反発します。無意識は今の状態を保ち続けようと働きますが、少しずつ刺激を与えると変わっていくという可塑性(かそせい)も持ち合わせています。強くはないが同じ刺激を与え続けることが効果的です。私の提案は、トップの意識からかわってもらい、私が社員との面談を通じて本人から引き出した目標と会社の目標を結び付け、順番にそれを下におろしていく、という手法の導入です。上位の人たちを満らし、その人たちを新しく入ってきた人たちに見せていく事で、チームの活性化を図るという事ができるでしょう。

山本教夫会長



講評

山本教夫会長

一番伝えなかったことを一番にここでお伝えできて良かったと思っています。廣濱様、本日は有難うございました。

◇ 閉会の点鐘

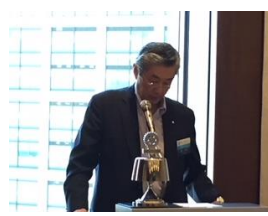
山本教夫会長



江畑要会員



廣濱成一様



湯川愛里会員



《今後の主な行事予定》

◇ 11月23日～ ミクロネシア奉仕活動

《今後の例会スケジュール》

- ◇ 11月 9日 12:30~13:30
- ◇ 11月16日 12:30~13:30
- ◇ 11月30日 12:30~13:30